

出来ごころ (1933)

メディア 映画
ジャンル ドラマ コメディ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 100分
初公開日 1933/09/07

【解説】
坂本武演じる喜八を主人公とした「喜八シリーズ」の第一弾。小津安二郎が自らの原案を監督した。脚本は池田忠雄。ちなみに喜八のキャラクターは、後の「寅さんシリーズ」の原点とも言われている。
長屋で息子の富夫と二人で暮らす喜八は、日雇い労働者として工場に勤めている。同僚で隣に住む次郎と一緒に演芸場へ出かけた喜八親子は、その帰り道で春江という女性と出会う。彼女は工場をクビになり、行く当てがないという。喜八は、行きつけの食堂の店主である“かあやん”に、春江を泊めてほしいと頼み込んだ。春江は食堂に住み込みで働かせてもらうことになった。富夫は年甲斐もなく春江に熱を上げるが、彼女は次郎に興味を持っていた。

【クレジット】
監督 小津安二郎
原案 ジェームス・楨 James Maki (小津安二郎)
脚本 池田忠雄
撮影 杉本正二郎
美術監督 脇田世根一
衣裳 斎藤紅
編集 石川和雄
出演 坂本武 喜八
伏見信子 春江
大日方伝 次郎
飯田蝶子 おとめ
突貫小僧 富夫
谷麗光 床屋